

# 「さいしょのいっぽつつながる笑顔」 事業

子育て応援サークルいちご

## 団体概要

設立：2007年8月

理念・ミッション：「一期一会」の「いちご」です。「人と人との出会い」・「絆作り」を大切にしています  
親子が気軽に集い、心も体も健康になれる居場所作りを目指し、活動の輪を広げています。

活動内容：親子で楽しめる季節のイベントを開催しています。

所在地：静岡県清水町

ホームページアドレス：<https://www.facebook.com/ichigo15ichie/>

連絡先など： mail：ichigostaff@yahoo.co.jp TEL：090 - 1620 - 6337

## 始めに・目的・動機・背景

核家族化に伴い、幼稚園などのコミュニティに属す前の0歳～就園前までの親子の孤立が、母親の産後うつに大きく影響するなど社会的問題となっている。

特に現代の子育てで求められているのは、行政支援で補いきれない母親同士の交流支援(ママ友づくり)や、先輩ママによる経験者・当事者目線のより身近な相談支援であるといわれている。

本事業は、孤立した育児環境から一歩踏み出すきっかけを与えること、そして母親の心理的安定・孤立感の解消の助けとなる「子育ての土壌となる居場所づくり、仲間づくりを提供すること」を目的に、初めての赤ちゃんとのお出かけ(最初の一步)が、これから子育てをしていくまちとのつながりや、笑顔の子育てにつながっていく事業として実施した。

また、沼津市内の他子育て応援団体と連携をとることによって、地域や対象など様々な特色を持つ支援の存在に対する認知を広めることも目的として実施した。

## 実施概要・要約

子育て期にもっとも孤立してしまうと言われている「産後すぐ0歳～就園前の親子」を対象に、年間を通じて毎月2回(全24回)、そこに行けば誰かと話せる、繋がれる、子育ての最初の一步を気軽に踏み出せるきっかけを提供。

また、その後の子育ての土壌となる仲間づくりや、次の居場所が選択できる情報提供とそれらを繋ぐ交流支援を実施。

# 手法・方法・スケジュール

開催：5月～翌2月 全9回 10時～12時 会場 沼津第三地区センター

内容：手形足形アートと交流会、歩き出す前の月齢向け講座（ベビーマッサージなど講師招致・有料講座）

講師：ベビーマッサージ Smile代表 永井かおり先生

先輩ママファシリテーター：ベビーウェアリングコンシェルジュ 河嶋庸乃

告知：SNS (LINE@やfacebookなど) で告知

参加費：500円 参加人数合計55人



開催：4月～翌2月 全11回 10時～12時 会場 沼津第三地区センター

内容：手形足形アートと交流会、歩き出した後の月齢向け講座（リトミックなど講師招致・有料講座）

講師：リトミック講師 花岡亜希先生

先輩ママファシリテーター：栄養士・子育てインストラクター 藤井さやか

告知：SNS (LINE@やfacebookなど) で告知

参加費：500円 参加人数合計161人



# 成果指標と結果・考察・事業効果

手形足形アートなど、赤ちゃんの成長の記録をとることで、参加者に日々の育児と向き合うきっかけを提供し、子育ての喜びを感じてもらうことができた。

ファシリテーターが間に入ることで、単独参加のお母さんでも他のママとの繋がりが自然にできた。

赤ちゃんとのお出かけに慣れている層が興味を持つ講座を設定することで、すでに一歩先の月齢、年齢にいる先輩ママたちにも参加してもらい、多年齢・他月齢の居場所作りが行えた。

その後の子育ての日々を後押しする仲間づくりや、自分にあった次の居場所を見つけてもらうのに役立った。

## ◆リトミック◆



## ◆ベビーマッサージ◆



## ◆おんぶと抱っこ指導◆



## ◆手形足型アートワークショップ◆



## ◆ごろんアート◆



## 今後の課題・これからの展望(今後の活動予定)・自己評価

ベビーマッサージやリトミックなど行政が無料で提供する講座が充実してきたことで、参加費500円の運営に対し、参加者の集客・ニーズに正直苦労した。また、産後1年で仕事復帰する家庭も多いため、深いコミュニティの場よりも、出会いのきっかけの場を求めているように感じた。今回のベビマ・リトミックの部分のみを切り取ると、その部分の企画としては、私たちの役割は果せたと感じた。今後は、ニーズのある先輩ママとの関わりや出会いのきっかけづくりは残しつつ、現役のママがママ目線で企画する季節のイベントを月1回開催し、親子が学び、楽しみ、情報を得て繋がることのできる「あったらいいな」を形にした場所を提供していく。

当団体のネットワークを生かし、沼津市近隣に存在する様々な特色や強みを持つ子育て団体・子育て支援関係者についての情報提供を行い、最初の一步のその後に繋げる自分に合った居場所の選択肢を広げることに寄与できた。

最初の一步を踏み出す親子の身近なサポーターとして、行政支援で補いきれない母親同士の交流支援(ママ友作り)や、先輩ママによる経験者・当事者目線の相談支援を行うことで、一番孤立しがちな0歳～就園前までの親子の心のケア、および仲間づくりに貢献できた。

子育て経験のあるファシリテーターや専門家講師を配置し、心身共に日常の育児を楽に健やかに行うためのアドバイスを行った。母親同士の交流支援を意識的に行うことで、単独参加でも居心地の良い空間を意識した。「4回以上参加したリピーター」が70%、「活動に参加してとてもよかった」と答えた方が88%（「よかった」を含めると100%）とのアンケート結果をいただいた。親子のあったらいいな」に応える事業ができたと考える。

今後も親子の居場所となる心のケアができる場を提供していきたい。